

— 伝え続けた
想 —

新
井
満
回
顧
展



大沼国定公園にて

2023年

8月1日[火]—11月5日[日]

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(ただし、9月18日、10月9日は開館)
9月19日[火]、10月10日[火]

入館料 一般 500円(400円)、高校生以上 300円(240円)
中学生以下無料 ※()内は団体20名以上

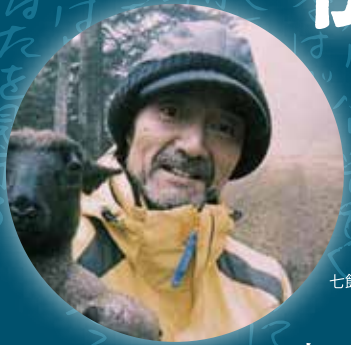
〒950-0088 新潟市中央区万代3-1-1 新潟日報メディアシップ5階
TEL. 025-250-7171 <http://nmmc.jp/>



にいがた
文化の記憶館

主催 にいがた文化の記憶館、新潟県、新潟日报社
共催 新潟日報美術振興財団、BSN新潟放送、NST新潟総合テレビ
協力企業 田村紙商事株式会社
監修 竹石松次氏(BSNメディアホールディングス特別顧問)
展示協力 新井紀子氏、七飯町(北海道)、BSN新潟放送

伝え続けた想



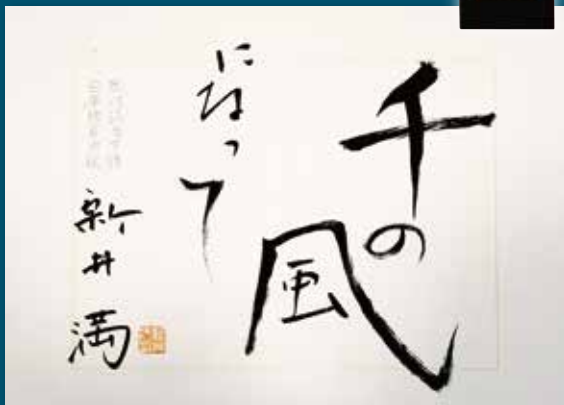
七飯町にて

大ヒット曲「千の風になって」の翻訳、作曲で知られる新井満(1946~2021年、新潟市)。青年期に重病を患い生死を彷徨った体験から、生きる喜びを実感。以降、美しいものを発見し伝えることをライフワークとして生きたいと誓いました。大学卒業後に入社した広告会社で環境映像制作に携わりながら、歌手や作詞作曲、執筆(のちに芥川賞受賞)など多様な分野で活躍しました。2008(平成20年)年に『良寛さんの愛語』を発売。この頃から新潟市「千の風のふるさと・新潟市」にも関わるようになりました。様々なジャンルで活躍した新井満が生涯伝え続けた想とは。本展では、このテーマで、新井満に関連資料とともに紹介します。

2007年日本レコード大賞
作曲賞ブロンズ像
七飯町蔵



少年期の新井満



新井満 自筆原稿「千の風になって」七飯町蔵



芥川賞受賞作 新井満「尋ね人の時間」
1988年 文藝春秋 個人蔵

愛用のギター
個人蔵



シンガーソングライターの頃



第99回芥川賞・直木賞受賞パーティーにて
左から2人目が新井満、母ヨシノ、紀子夫人

新井満 作・絵
「月子」
2004年 理論社
新井満 作・挿画
「髭とバラソル」
2011年 新潟日報事業社
いずれも個人蔵



関連イベント

トークイベント 「千の風の誕生秘話」

登壇者 新井 紀子氏 (新井満氏夫人)
川上 耕氏 (弁護士)
佐藤 和正氏 (フリージャーナリスト)
司会 竹石 松次氏 (BSNメディアホールディングス特別顧問)

日時 9月29日(金) 午後2時~3時30分
会場 新潟日報メディアシップ2階 日報ホール
(新潟市中央区万代3-1-1)

参加費 500円(会期中有効の観覧券付き)
※当館/バスポート会員は無料

定員 170名 ※先着順、要事前申し込み

お申し込み ①はがき ②FAX ③当館窓口
④講演会専用申し込みフォーム▶



①~④のいずれかに、**氏名、住所、電話番号** をご記入の上お申し込みください。聴講券は発行しません。定員に達して受付に漏れた方のみ、ご連絡を申し上げます。

担当学芸員による ◆ 作品解説会 ◆

①8月26日[土] ②9月23日[土・祝] ③10月28日[土]
各回とも、

時間 午後2時から(約30分)

会場 にいがた文化の記憶館 展示室

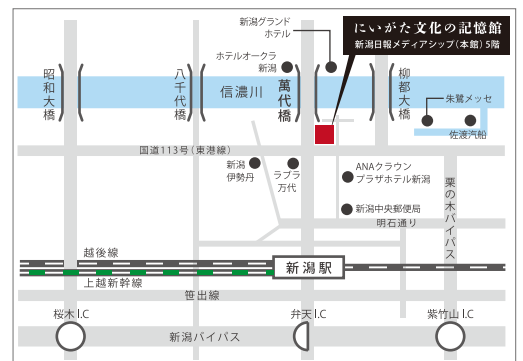
参加費 無料(要当日入観券。当館/バスポート会員は不要)
※事前申込み不要(当日は直接当館へお越しください)

【交通のご案内】

新潟駅から タクシー 約5分 / 徒歩 約15分
新潟空港から タクシー 約15分

【駐車場のご案内】

メディアシップ第1・第2駐車場(24時間営業)
第1駐車場 料金 220円/30分
第2駐車場 昼間料金 200円/30分



〒950-0088 新潟市中央区万代 3-1-1

新潟日報メディアシップ 5階

開館時間 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)

休館日 月曜(祝休日の場合は翌日)

【エレベーターの運転時間について】

開館時間以外には、メディアシップのエレベーターは5階に止まりません。ご来館の際はご注意ください。

NMCC にいがた文化の記憶館
Niigata Memorial Museum of Culture

☎ 025-250-7171

http://nmcc.jp/

割引券
■ 本券につき2名以上で
一般・学生
■ 各種団体
料金 (切取不可)